

拠出金・基金の名称:	国際開発教育・研究機関拠出金(アジア工科大学院拠出金)				
種別	イヤーマーク ノン・イヤーマーク				
拠出先の国際機関名: アジア工科大学院(AIT)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省国際協力局国別開発協力第一課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<ul style="list-style-type: none"> ● 東南アジア地域において知名度が高く、高い教育レベルを有し、日本との豊富な連携実績のあるAITを支援することにより、同地域の国々の工学系人材の育成を支援する。 ● 特に、近年重要性を増している、リモートセンシングを活用した東南アジア地域の気候変動・防災対策の分野では、東京大学やJAXAとの連携も進めておりアジア地域でトップレベルの学科(修士・博士課程)と研究センターを擁することから、リモートセンシング・地理情報(RS-GIS)を専攻する学生(博士・修士)に対して奨学金を付与する。 					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成24年度	12442	154	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	0	0	-	-	-
平成22年度	8,662	92	-	1米ドル = 94円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>我が国は「ASEAN防災ネットワーク構想」を進めており、ASEAN地域を一体として捉えた防災ネットワークの構築を目指している。24年度の奨学金では、我が国も積極的に支援を行う方針である東南アジアにおける防災・環境対策のためのリモートセンシング分野に絞って支援を行っており、当該分野において4名の博士課程・修士課程の学生に対し支援を実施している。</p> <p>AITは、アジアでトップレベルのリモートセンシング学科(博士・修士課程)及び研究センターを有しており、東京大学、JAXAと連携しプロジェクトや研修等を実施していることから、AITを通じた当該分野に対する支援は効果的な支援となっている。</p> <p>なお、当該拠出金は、使用にあたって我が国の承認が必要な基金として全額管理されており、奨学金のみにしようされている。</p>					